

関白秀吉も通った400年以上の歴史ある太閤橋。

現在、原町から唐津街道を福津の方に向かうと大穂町と大穂の間にかかる小さな橋がある。これが豊臣秀吉も通ったとされる太閤橋(大穂橋)だ。江戸時代には参勤交代でも使用され、いまでも多くの人々の交通を支えている。
※桁下へ降りる道はありません。橋上からご覧ください。



熊野権現が祀られる熊野神社。小早川隆景が国主だったころ年間24回の祭祀が行われ、当時は許斐流神楽が奉納されていたと云われる。

登山口の看板。標高271m、頂上まで840m。途中の山道にある名所や分岐点、八並方面のルートが記載されている。



Konomiyama

許斐山とその周辺

Theme **歴史散策**

About

許斐山(このみやま)は標高271m。宗像市王丸と福津市八並に跨る山。山頂には山城があった。その名残が馬場跡などから垣間見える。

許斐山の登山口へは、JR東郷駅から徒歩約35分(2.5km)。山頂までは登山口から約40分。ビギナー向けや気軽に登るには丁度いい距離。そこからさらに奥の山間へ向かうと宗像最南端の大穂(おおぶ)区がある。南側の山を越えると宮若市、西へ抜けると福津市へ。王丸から大穂方面はのどかな自然が広がる。



宗生寺の正門は名島城の搦手門(からめてもん)を移築したそう。4月後半から見頃となる3,000本のつつじや藤棚が有名



山道はきれいに整備されている。鳥居や常夜灯など当時、神事が盛んに行われていた跡が残る



許斐山

許斐山登山口(王丸側)

JR東郷駅

大島

◀国道三号線

原町上空から許斐山方面を撮影



登山口付近の許斐公園には四季折々の植物がある



宗像の最南端に位置する大穂の道路は車も少なく歩きやすい

から山間に入った地域が大穂だ。街道から逸れた地域で車通りも少なく、自然豊か。川のせせらぎに沿って集落の奥へと歩いていくと馬頭観音像を祀る曹洞宗宗生寺^{そうしやうじ}が現れる。本寺は許斐氏の菩提寺^{ぼだいじ}で、1483年に当時の許斐山城主が建てたとされる禅寺である。小早川隆景の墓所があり、馬頭観音像は福岡藩二代藩主、黒田忠之から寄進されるなど、歴史深い。三千本のつつじや藤棚も有名で季節ごとに様々な植物が楽しめる。

東郷駅から王丸、許斐山に登り、大穂、宗生寺へと向かってまた駅へと戻る約5時間ほどのコース。南北朝時代や江戸時代の歴史の名残が細々と残るこの地域。駐車場も各所にあるので、散策に自信が無い方も車などを活用してぜひ一度訪れてみて欲しい。

ひつそりと佇む集落へ

許斐山を下山して、王丸よりさらに奥に歩を進めると福津に抜ける旧道に繋がる。江戸時代に栄えていた唐津街道だ。関白秀吉が朝鮮出兵の際に通る、太閤橋、太閤水、太閤池と呼ばれる史跡が街道沿いに残っている。許斐山登山口からさらに徒歩30分程度、街道沿いに民家が並ぶ大穂町

そんな歴史ある山も約40分程度で登れ、気軽に楽しめる。山頂からは玄界灘や四ツ塚連山を眺めることができる。

野神社、麓には許斐神社(六之神社)がある。祭祀も行われ、外敵から守る砦としての役割も担い、幾度となくこの一帯は戦場となった。戦国時代には、立花山に山城を構えていた大友氏からの襲撃を抑えるための要になっていたが1587年に宗像家断絶の時に廃城となる。

宗像の最南端に位置する。初代宗像大宮司の清氏の次男氏平が許斐の姓を賜り、この地に城を築いた。それから許斐山と名を変えて許斐山城も築城された。そういった背景もあり、今も山頂には王子神社、さらに熊

要害の地、許斐山

許斐山は宗像市と福津市の境に位置する。初代宗像大宮司の清氏の次男氏平が許斐の姓を賜り、この地に城を築いた。それから許斐山と名を変えて許斐山城も築城された。そういった背景もあり、今も山頂には王子神社、さらに熊

海と繋がる南部の歴史

JR東郷駅に降り立ち、宗像大社の方角とは逆の南側、日の里口を出て国道三号線方面へと向かう。宗像の歴史は海の印象が強いが、これから向かう南部の地域も実は宗像一族と古くから繋がりがあ